

議会だより

6 月市議会から

【安城都市農業振興協会の経営状況】

デンパークを経営する【安城都市農業振興協会】の平成19年度の経営状況が、次のとおり報告されました。

平成19年度の入園者は、開園10周年の節目に当たり、記念イベントや園内施設の一部リニューアルの実施などにより50万48人で、前年度に対して約107・4％と増加しました。

平成19年度決算は、一般会計で収入6億9800万円余、支出6億7100万円余。収入の内訳では、市からの指定管理料3億5200万円余、10周年事業など委託料7000万円余、入園料などの

施設利用収入が2億200万円余、テナントからの運営協力金1700万円余などとなりました。支出の内訳では、管理費1億2900万円余、農業振興並びに地場産業発展事業費で1億7300万円余、市民園芸事業費2700万円余、花とみどりのまちづくり事業費1億3100万円余、施設など管理事業費2億800万円余などとなりました。特別会計では収入9000万円余、支出8500万円余となりました。

平成20年度予算は、一般会計で収入6億1100万円余、支出で6億2000万円余で収入の不足額は平成19年度の繰越額の一部を充て、特別会計では収支とも9900万円余の予算を計上しました。

平成20年度予算は、一般会計で収入6億1100万円余、支出で6億2000万円余で収入の不足額は平成19年度の繰越額の一部を充て、特別会計では収支とも9900万円余の予算を計上しました。

おり報告されました。

第14期（平成19年度）は、MAパーク駐車場の営業状況は、駐車料金の収入として前年度対比約27％、270万円余の増加となりました。

営業収益は1億4510万円余、営業費用は借地料その他で、1億2520万円余で、当期営業利益は1980万円余となりました。

なお、営業外収益はあいち中央農業協同組合から1500万円の補助金を含め2260万円余であったのに対し、営業外費用は90万円余であったため、3290万円余の経常利益を上げることができ、前期からの繰越損失を減額することができました。

第15期（平成20年度）は、引き続き、個人や大口の利用者を拡大するため、販売促進活動を進め、1億4420万円余の売上高、税引き後純利益を1650万円余と見込んでいます。



安城北部地区工業団地造成地

三河安城駐車場（株）の経営状況

新幹線三河安城駅北口前で「MAパーク」を経営している三河安城駐車場の経営状況が、次のと

平成20年第2回安城市議会定例会を6月11日から26日まで開催し、提出された「安城市手数料条例の一部を改正する条例の制定」など12案件を原案どおり可決したほか、11案件が報告され、同意議案1件を原案どおり同意しました。

12日と13日の一般質問には、10人の議員から行財政、教育、都市整備、市民生活、環境、福祉など市政の各方面にわたり質問がありました。

この議会で決まった主な内容をお知らせします。

なお、本会議の詳しい内容は、8月下旬（予定）から市役所市政情報コーナー、中央図書館に設置する「会議録」をご覧ください。また、安城市議会ホームページの「議会映像配信」「会議録検索システム」でも公開します。

市土地開発公社の経営状況

安城市土地開発公社の平成19年度事業報告・決算および平成20年度事業計画・予算が、次のとおり報告されました。

平成19年度は、公有地取得事業として、荒曽根公園整備事業用地、安城南明治土地地区画整理事業用地、名鉄西尾線新駅整備事業用地など7事業で、面積1万5860㎡余を9億8500万円余で、土地造成事業として面積4万3490㎡余の安城北部地区工業団地造成事業用地を15億2600万円余で取得。荒曽根公園整備事業用地、安城南明治土地地区画整理事業用地のうち更生病院跡地、安城北部地区工業団地関連道路整備事業用地な



デンパークフロアラルプレイス内

保育園に関する陳情／不採択

固定資産評価審査委員会委員の選任

8月25日で任期満了となる神谷正文氏の後任に、引き続き同氏（東栄町・59歳）を選任することに同意しました。

意見書提出を議決

市議会では次の意見書1件を国の関係機関に提出することを決めました。
▽「国営土地改良事業の継続に関する意見書」

一般質問のあらまし

行財政



■財政計画について

問 学校の耐震補強が遅れていて、施設の大規模改修や建て替えの時期が迫ってきている。今後の財政計画について伺いたい。

答 公共施設で耐用年数を経過し、建て替えの時期が到来する建物が多くあります。このため、各施設の老朽の状況などを勘案した上で、修繕・改築計画を今年度中に立案し、今後の安定した財政運営に役立てていくこととしています。改築や大規模改修などの財政需要は、今後の財政支出を硬直化させる要因ではありますが、これまでに、本市の学校校舎や



桜林小学校体育館

自主財源の確保策の一つである企業誘致に関しては、明祥工業団地と北部工業団地で実施していて、今後、市税などの増収が期待できる状況となっています。

今後の景気の状態は不透明ですが、財源の見込みは困難を伴いますが、本市はこれまでに事業のスクラップアンドビルドや経常経費の削減などにより、健全財政堅持に努めてきました。そのうえで、景気状況を見極め、市債を極力抑制し、基金を積み増しするなど、景気の低迷に備えた財政運営を行ってきました。今後も、健全財政を基本とする財政運営を継続することで、多様化する市民ニーズに

応え、施設改修計画などの財政需要に的確に対応することができると考えています。

■平和行政について

問 2010年は戦後65周年を記念した平和事業に取り組み、市民に平和といのちの尊さ呼びかける必要があると思うが、市の考えを伺いたい。

答 平和の尊さ、命の大切さは人類すべての願いであります。我が国が戦災から復興して、現在までの発展を遂げられたのも二度と戦争を起こさないという国民の断続的な努力があったからと思います。

本市では、これまで周年事業として、平成7年の戦後50周年に、歴史博物館において「平和への願い 戦時下のくらし」と題して、当時使われていた道具や当時の様子を伝える新聞・雑誌などを展示しました。また、55周年の平成12年には、福祉まつりにおいて、被爆者の体験談や原爆パネル展を開催し、平成16年には戦後60周年の1年前でしたが、歴史博物館の企画展として「戦争のなかに生きる」と題して、戦争遺跡めぐりや戦争体験者の講演会、戦時下の日常生活品の展示などを行いました。平成22年の戦後65周年では、原爆パネル展など平和啓発事業の実施を検討していきます。

教育



■文化センター改修とプラネタリウムについて

問 文化センター改修計画および発明クラブの拠点整備についてどのように考えているのか。また、プラネタリウムの改修内容について市の考えを伺いたい。

答 文化センターの改修は、老朽化により運営に支障が生じつつあるプラネタリウム本体の改修を機に、星空や宇宙のことを学習できるような場所やプラネタリウムを見に来た子どもたちが、ものづくりを体験できるような場所を整備し、プラネタリウム棟を、天文とものづくりの拠点としたいと考えています。

発明クラブは、学校教育の枠外で科学やものづくりを学ぶ場として重要な役割を担っていて、その充実と円滑な運営を支援するために、現在和泉町の旧職業訓練校の一角に事務局を置き、3か所の地区公民館で活動していますが、施設も老朽化しているので



現プラネタリウム投影機

子どもたちが安心して活動でき、充実した運営が行えるような拠点の確保をしたいと考えています。

プラネタリウムの改修は、昭和56年文化センター開館と同時に開設して以来26年経過していて、老朽化や電子部品の製造中止などにより、運営に支障を来す状況となりつつあります。そこで、最新型のプラネタリウム投影機器の導入やスクリーン、座席などドーム内全体の改修と天文に関する展示や学習ができる場所についても検討しています。

都市整備



■名鉄西尾線新駅の周辺整備について

問 新駅の利用者を増やすため、周辺の工場地帯を拡張して新駅を通勤に使う従業員を増やす必要があると思うが、どのように考えているのか。また、道路整備や駐車場整備について伺いたい。

答 名鉄西尾線に新しく開業する南桜井駅の利用者数の確保は、まず、隣接する主要事業所に、多くの社員がこの駅を利用していただく方向付けを示していただいています。また、その他の周辺の事業所に通勤する従業員の利用増をお願いするとともに、地域の皆さん



南桜井駅

の積極的な駅利用への意識付けが必要になります。

駅前広場は、新駅の開業時には暫定整備となりますが、引き続き広場整備を進め、本年中には供用を開始したいと考えています。また、周辺部の道路整備や駐車場は、駅利用の状況を勘案し、問題点を整理しながら対応をしていきたいと考えています。

なお、エコサイクルシティ計画に位置付けられた自転車利用を促進し、サイクルアンドライドを推進するため、駐輪場を積極的に設置していきたいと考えています。

市民生活



■犯罪のない安全・安心なまちづくりについて

問 最近、凶悪な犯罪などが増えているが、不審者情報の共有につ

いてどのような課題があり、今後改善していくのか伺いたい。

答 幼稚園・保育園・小中学校・高校・公民館などに寄せられた不審者情報は、それぞれのルートを上って最終的に市の教育委員会へ寄せられますが、その間で警察にも通報され、関係各機関にはファクスで配信されます。寄せられた情報は最終的に学校教育課にて不審者情報メールとして配信される仕組みです。

そのため、各機関が休みの時などは翌週になるなど、配信までに日数を要する場合もありますが、教職員をはじめ保護者や児童・生徒には発生後速やかに届けていただくよう呼びかけています。

現在の課題は加入者を増やすようにチラシ・ホームページ・広報などで宣伝していますが、平成19年度にシステムのリニューアルをしています。具体的には、配信す



■妊産婦健康診査の窓口負担の解消について

問 安城市あるいは西三河南部医療圏で医療機関と協力し、診察窓口で市民負担がないようにできるか考えを伺いたい。

答 平成20年4月から妊婦健診の14回と産婦健診の1回について、費用を助成しています。妊婦健診の2回分は、平成8年度まで県が実施主体で行っていたので、その当時から現物支給で健診できる仕組みを、3回目以降は健診料を医療機関の窓口で一旦支払った後、市へ請求していただく償還払いにより助成しています。現物支給で行えば、窓口における支払いが不要となり、市民にとって利用しや

すい仕組みであります。

近隣各市で実施している現物支給の内容を確認したところ、従来から実施している2回分を除いた3回目以降については、愛知県医師会から提示されている5980円の一定の単価により、一律の健診内容で行われていました。しかし、妊婦健診は妊娠月数や受診する医療機関により健診項目が異なっていることや自由診療であるため、健診料金が異なっています。このため、助成の方法として一定の単価、一律の健診項目で行うより、14回の健診ごとに実際にかかった費用に基づいて現物支給で助成するのが望ましいと考えています。

今後、市内医療機関における妊婦健診の実情を調査し、市民の利便性や経済負担も考慮し、市医師会と現物支給に向けた健診の内容や料金設定について可能であるか協議していききたいと考えています。

環境



■古紙分別回収について

問 7月からごみステーションで古紙の回収が始まりますが、市民

に対しわかりやすく目標・指数を提示し、積極的に施策を展開するべきと考えますが、今後の方策を伺いたい。

答 古紙回収の県内1位は当面の目標であり、そのための方策はすべての市民に行動を起こしていただくための動機付けが必要です。そのために、適切な情報をタイムリーに提供することが重要と考えます。そこで、毎月15日の広報とホームページにごみ量の増減や古紙の回収量などを掲示し、月々の変化がわかるようにしていきます。また、6月末日までに、全ての町内会に伺い、ごみ減量20%のお願いと古紙分別回収のお願いをするようにしています。今後も市民団体や集合住宅などあらゆる機会を利用して説明会を開催するなど、市民の意識を喚起していきたいと考えています。



古紙分別回収

■レジ袋の有料化について

問 6月からレジ袋が有料化され

- 5月16日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の中中部福祉センター建設現場（新田町）、私立すずらん保育園（昭和町）など6か所を巡視しました。
- 6月2日 部会を開催し、財団法人安城市都市農業振興協会と社会福祉法人安城市福祉事業団の平成19年度事業および決算報告の説明を聞き、質疑を行いました。
- 6月20日 第2回定例会で審査を託された安城市休日急病診療所の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例の制定の1議案を審査し、原案どおり可決しました。常任委員会終了後、行政調査の内容について勉強会を開催しました。
- *市民文教常任委員会
- 5月12日 新しい委員会が構成され、正副委員長の互選などを行いました。
- 5月15日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の中央図書館（城南町）、レジャービル（和泉町）など5か所を巡視しました。
- 5月20日 所管施設の作手高原野外センター（新城市）を巡視しました。
- 6月19日 第2回定例会で審査

ると聞くが、各店舗で得られた収益金はどのように活用されるのか。また、マイバッグの持参率の状況と目標を伺いたい。

答 今後、大型店など事業者からの協力により収益金が出た場合の活用方法は、環境イベントや環境学習会の開催など、その具体的な方法については、レジ袋削減推進協議会で議論していきたいと考えています。

マイバッグ持参率については、昨年11月から市内のスーパーなどで実施しましたマイバッグキャンペーンの際に買物客に対してアンケート調査を行いました。この時の平均辞退率で28・6％となっていますので、マイバッグの持参率も同様と推定されます。

本市では個人商店にもできるだけ多く参加していただこうと、当初、レジ袋削減推進協議会では辞退率の目標を50％に設定しましたが、各店舗から回答のあった辞退率の目標は平均で67％、高いところでは90％となっています。すでに実施している名古屋市を見ても、最終的には平均で90％前後になると予想しています。

■太陽光発電システムの設置促進について

問 家庭で太陽光発電システムを設置した際、報償金が支給される

- を託された陳情1件と安城市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定など7議案を審査し、陳情は不採択とし、議案は原案どおり可決しました。
- 6月23日 行政調査の内容について勉強会を開催しました。
- *建設常任委員会
- 5月12日 新しい委員会が構成され、正副委員長の互選などを行いました。
- 5月14日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の柿田公園線南進道路（今池町）、碧海桜井駅付近鉄道立体交差事業（桜井町）など6か所を巡視しました。
- 6月18日 第2回定例会で審査を託された工事請負契約の変更の1議案を審査し、原案どおり可決しました。
- *議会運営委員会
- 5月1日 第1回臨時会の議事運営および後期高齢者医療広域連合議員選挙候補者の推薦人について協議しました。
- 5月12日 新しい委員会が構成され、正副委員長の互選などを行いました。
- 6月4日 第2回定例会の議事運営について協議しました。

福祉



と思うが、1kwあたりの助成額の増額と制度の改正について市の考えを伺いたい。

答 太陽光発電システムの設置による助成額は、西三河8市の中で太陽光発電システムに補助している市は5市あり、高額な市は1kw当たり10万円、低額な市は2万5千円となっています。環境首都を目指す本市としては、助成額を西三河でトップクラスに近づけたと考えていますが、最終的には環境施策全体を見ながら検討していきます。

制度については、現在報償金の形をとっていますが、設置後、翌年払いという変則的な部分もあり、これらを是正することも考慮して、来年度設置者から補助制度への切り替えを行っていきます。

■後期高齢者医療制度について

問 保険料の2年ごとの見直しや年金天引きについて伺いたい。また、保険料を滞納した場合の対応についても伺いたい。

答 高齢者の負担する保険料は、後期高齢者医療給付費などの総額を国や県、市町村が税金で5割を負担し、社会保険や国保など医療保険者が4割を、高齢者が1割を

- 負担する仕組みです。保険料の負担は、2年ごとに見直しがされますが、世代間の負担の公平性を維持するため後期高齢者と現役世代の人口比によって1割の負担を変えていく仕組みが導入されています。したがって、保険料の負担は後期高齢者人口および医療費によって、その影響があると考えています。保険料の試算は、広域連合に確認したところ現在は試算していません。
- 保険料の納付方法は、年金からの天引きによる特別徴収によると定められています。このため、事前に4月1日号の広報あんじょうでお知らせし、後期高齢者医療保険特別徴収額決定通知書・保険料特別徴収徴収開始通知書を該当する人へ送付しています。
- 保険料を滞納した場合は、1年以上滞納すると被保険者証を返還していただき、広域連合から資格証明書が発行されます。実際の運用に当たっては、滞納している人と面談し、滞納している理由を十分把握することを第一に行い、真に生活が困窮し納付が困難な人には、短期保険証を、また、資力がありながら納付する意欲がない人には、資格証明書を発行するなどで対処し、一律に資格証明書を発行していくことは考えていません。
- 6月23日 第2回定例会最終日の議事運営について協議しました。
- *議会改革検討委員会
- 6月23日 新しい委員11人を委嘱し、正副委員長を選出した後、議長が諮問事項2項目を諮問しました。
- *広域行政・行政改革特別委員会
- 5月12日 委員の所属変更に伴い、正副委員長の互選などを行いました。
- 6月17日 行政調査の内容について勉強会を開催しました。
- *まちづくり推進特別委員会
- 5月12日 委員の所属変更に伴い、正副委員長の互選などを行いました。
- 6月17日 行政調査の内容について勉強会を開催しました。
- *環境首都推進特別委員会
- 4月16日 安城市一般廃棄物処理基本計画について説明を聞き、質疑をしました。
- 5月7日 環境モデル都市について説明を聞き、質疑をしました。
- 5月12日 委員の所属変更に伴い、正副委員長の互選などを行いました。

議会一口メモ 一般質問の録画映像をインターネットで見よう

安城市議会では、市民の皆さんにわかりやすく親しまれる市議会を目指し、平成19年第2回定例会（6月議会）から一般質問の録画映像をインターネットで配信しています。

地元ケーブルテレビ（キャッチ）では既に録画映像を放映していましたが、一般質問の様子をさらに多くの人に知ってもらうため、一般質問終了後、おおむね10日後に市議会ホームページから視聴することができます。

録画配信のため、議会の傍聴ができない人でも、いつでもどこでも何回でも視聴できます。

市ホームページ（望遠郷）
 ➡ <http://www.city.anjo.aichi.jp/>
 市議会ホームページ
 ➡ <http://www.city.anjo.aichi.jp/gikai/>

委員会の活動状況

- 3月定例会閉会以降、6月定例会閉会までの各委員会の活動状況は次のとおりです。
- *総務企画常任委員会
- 5月7日 部会を開催し、環境モデル都市について説明を聞き、質疑をしました。
- 5月12日 新しい委員会が構成され、正副委員長の互選などを行いました。
- 5月19日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の北部工業団地（里町）、明祥工業団地（東端町・根崎町）の2か所を巡視しました。
- 6月23日 行政調査の内容について勉強会を開催しました。
- *経済福祉常任委員会
- 4月11日 部会を開催し、安城市一般廃棄物処理基本計画について説明を聞き、質疑をしました。
- 5月12日 新しい委員会が構成